



Look Beyond Yourself 自分を超えた眼を

1991-92年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー ●第2560地区ガバナー 橋本 力
- 会長——渡辺宏策 ●副会長——内山辰策 ●幹事——石橋育於 ●副幹事——外山雅也
- SAA——五十嵐力 ●副SAA——渋谷正一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
FAX 32-7095

出席者会員数 会員 74名中 44名

先々週出席率 85.51% (前年同期 85.14%)

今日のお花 カーネーション、フリージャー

ヴィジター 三条北より 山上茂夫君、石川勝行君

先週のメイクアップ 2/20 燕へ 外山一郎君、加藤紋次郎君

2/23 桐生中央チャーターナイトへ

渡辺宏策君、山本福七君、平原信行君

2/24 三条南へ 金子左武郎君、鈴木宗資君、渡辺惣吉君、
古沢富雄君、五十嵐普三君、長谷川有美君、
近藤雄介君

2/25 三条北へ 岩井数央君、日戸平太君、細井増雄君、
外山一郎君、小林敬典君

会長挨拶 渡辺(宏)会長

この23日に桐生中央RCのチャーターナイトに平原君と参加して参りました。山本会員は地区役員(ロータリー友の委員)としてご招待で参加されました。バーナーを交換してきました。さすが織物の町桐生だけあって、袋帯と同じ造りの金らんの豪華なバーナーで

す。桐生は12万ちょっとの市です。昔から織物の町として栄えて来ましたが、最近では織物は低調で、ハイテクを駆使したパチンコの器械が一番の産業になっており、織物とハイテクの町桐生と言っています。

三条と同じに小企業が多く、ロータリーも中央RCで4クラブになり、ロータリアンも320名と多く、外にライオンズも3クラブあります。

こんな状況の中での新クラブの誕生で大変だったと思いましたが、既存のクラブの会員の2世が多く、比較的短期間に結成されたようです。本当の親子クラブです。群馬で6年ぶりの誕生だそうです。

幹事報告 石橋幹事

◎三条市特殊教育研究協議会より

「卒業進級を祝う会」ご出席お礼状がとどいております。

◎三条北RCより 環境保全委員会主催による鮭の稚魚放流のご案内がとどいております。

とき 3月8日(日) AM10:00~

ところ 五十嵐川渡瀬橋の下

3月のお祝い

◎会員誕生祝 2日 日戸平太君 5日 小林正義君 6日 金子左武郎君
6日 小林英雄君 14日 平原二三郎君 15日 岩井数央君
24日 山浦日出夫君 31日 金沢興宗君

◎夫人誕生祝 11日 渡辺洋子さん(喜彦) 16日 熊倉恵子さん(昌平)
18日 加藤敏子さん(征男) 21日 小林房子さん(九満太)
23日 加藤一代さん(紋次郎) 23日 伊藤初枝さん(廣一)
26日 内山セツ子さん(辰策) 26日 川又麻稚香さん(嘉瑞範)
29日 野水富子さん(文治)

◎結婚記念 11日 阿部武美君 16日 荻根沢隆雄君 17日 金沢興宗君
26日 関本哲秀君

新入会員紹介 阿部武美会員

第四銀行三条支店長

昭和13年11月22日生

家族構成：妻、二女

趣味：弓道、読書



ニコニコBOX ￥5,000

2月26日分

渡辺(宏)君 23日桐生中央RCのチャーターナイトに出席させて頂きました。
吉井君 ようやく内孫が出来ました。
小林(英)君 パルセロナ・オリンピック日本選手の大活躍をたたえて。
榎本君 結婚記念にはきれいなお花を有難うございました。
松谷君 阿部支店長の入会を歓迎しまして。

ロータリー財団ボックス ￥6,000

五十嵐(寿)君 次男大学入学。
佐藤君 孫が大学に入学合格致しました。

2月26日卓話

阿部武美会員

自己紹介を兼ねて少々お時間を拝借し、お話しを申し上げます。

私のような転勤族にとりましては、転勤の先々でお美味しいものを探して歩くのも楽しみの一つであります。

元来蕎麦好きな私は転勤の度ごとに蕎麦所を探して歩くようになりました。いろんなソバを経験するうちに蕎麦に関する知識も自然に備わってくるもので、又疑問も生じてワザワザ調べたりもするようになりました。

疑問の始めはまず白い蕎麦でありました。新潟地方のソバは茶色が、普通で自らも色のついたソバ以外は食べたことがなかったのです。ところが東京の蕎麦屋さんへ連れて行かれ、そこでご馳走になったのが真白い蕎麦でした。始めは注文を間違えたかと思ひ確かめましたがやはりウドンではなくお蕎麦でありました。

このときから蕎麦に興味をもっていろいろと調べたり聞いたりするようになりました。本日の時間の許す範囲で、蕎麦のあれこれについてお話しをしてみたいと思います。

〈蕎麦粉〉

- 一蕎粉 純白で最初に挽き出されたきれいな粉、これを精製したものがいわゆる「さらしな」といわれる。
- 二蕎麦 「置上げ」と称し白と白の間を開いて一番粉を挽き出し、次いでその開きを縮めて甘皮まで挽き込んだもの少々色がつく。風味を持ちそば好きが喜ぶ。
- 三蕎粉 もう一皮挽き込む。色が濃くなる。そばを愛する人が喜ぶ「田舎そば」
- 四蕎粉 ソバ殻の部分まで挽き込む。色の黒いゴツゴツしたソバが出来る。「挽きぐる



み」と称され栄養がある。

〈さらしな粉〉

○江戸時代から一部の通人や、贅沢好みの階級に好まれた。

一つは実をそのまま挽いてとる一番粉をもとにする。

一つは「寒ざらし法」と云って秋蕎麦を乾かし湿気を招かぬ様厳重に保存し翌年の寒中に清流でさらし、さらにこれを晴天時に充分に乾かす、これを一番粉として使用する。

〈「秋新」の味〉

蕎麦は播種から刈入れまで75日を要する蕎麦さんど（三熟）と云い年に3回とれる。

春蕎麦

夏 //

秋 // →旬で食べる時秋新と云い美味で珍重される

〈蕎麦の値段〉

・講談や落語に出てくる「二八のソバ屋の十六文」という云い廻しに出てくる16文は江戸時代後期、蕎麦一杯の値段のことであり幕末近くまでこの値段が続いたと云う。

ちなみにその後の値段の動きは

明治元年 5厘 (=50文) 参考米1升4銭

// 45// 5銭 (米一升20銭)

昭和初年 10銭

昭和25年 15円

平成4年 500円位 (コシヒカリ1升900円)

〈蕎麦の成分と栄養〉

蛋白質 14.7%

脂肪 3.1 (固形物 88.3
水分 11.7)

炭水化物 78.2

繊維 1.6

灰分 2.4

特に蛋白質はグログリンと呼ばれるもので牛乳などに含まれるものと同じもので良質である。血圧を下げる効果があるとか、健康食品として見直されている。

〈みそか蕎麦、年越蕎麦〉

江戸中期の町家から起った習慣である。

「世の中にめでたきものは蕎麦の種花咲きみのり三角（みかど）おさまる」

これは昔の関東地方の長者の一人増淵民部の歌です。民部の家で毎月晦日には家内中に蕎麦振舞をしたそうであります。ことに大晦日には家中のほかに入出入りの人々にも漏れなく振舞った。これを「福蕎麦」と云った。

民部の家が繁昌し、栄えたことを見聞きしてこの習慣をまねたものと云われている。この習慣がひろまって現在としてはいろんな説があるが、いくつか挙げてみます。

○長くのびるので

家運を伸ばし

寿命を //

身体を長く保とうと願った。

○蕎麦は五臓の汚れを取り去ると伝えられているので商家では

月末、年末に貸借勘定を精算して、さっぱりした気分新しい月や新年を迎えたいと云う気持ちにむすびつく。

○蕎麦と云う植物は一晩風雨にさらされても翌朝に立派に立ち上がるので、花の美しさをたたえ七転八起の性質にあやかろうとしたもの。

○蕎麦は金を吸いつける

京都の金箔屋さんが金箔を打つとき打粉としてソバ粉を使うことからきたもの

〈引越蕎麦〉

江戸末期嘉永年間に引越蕎麦の習慣が始まったと伝えられる。

「お側に住んで末長く」の意味を含めて向う三軒両隣りへ「もり」三つを配ったのが慣しとなったと云う。

転居して来ました小生が皆様に引越蕎麦をお配りしなければならないのですが、本日のところは蕎麦のお話しをお届けすることでご容赦を願います。

※参考文献：植原路郎「そば物語」

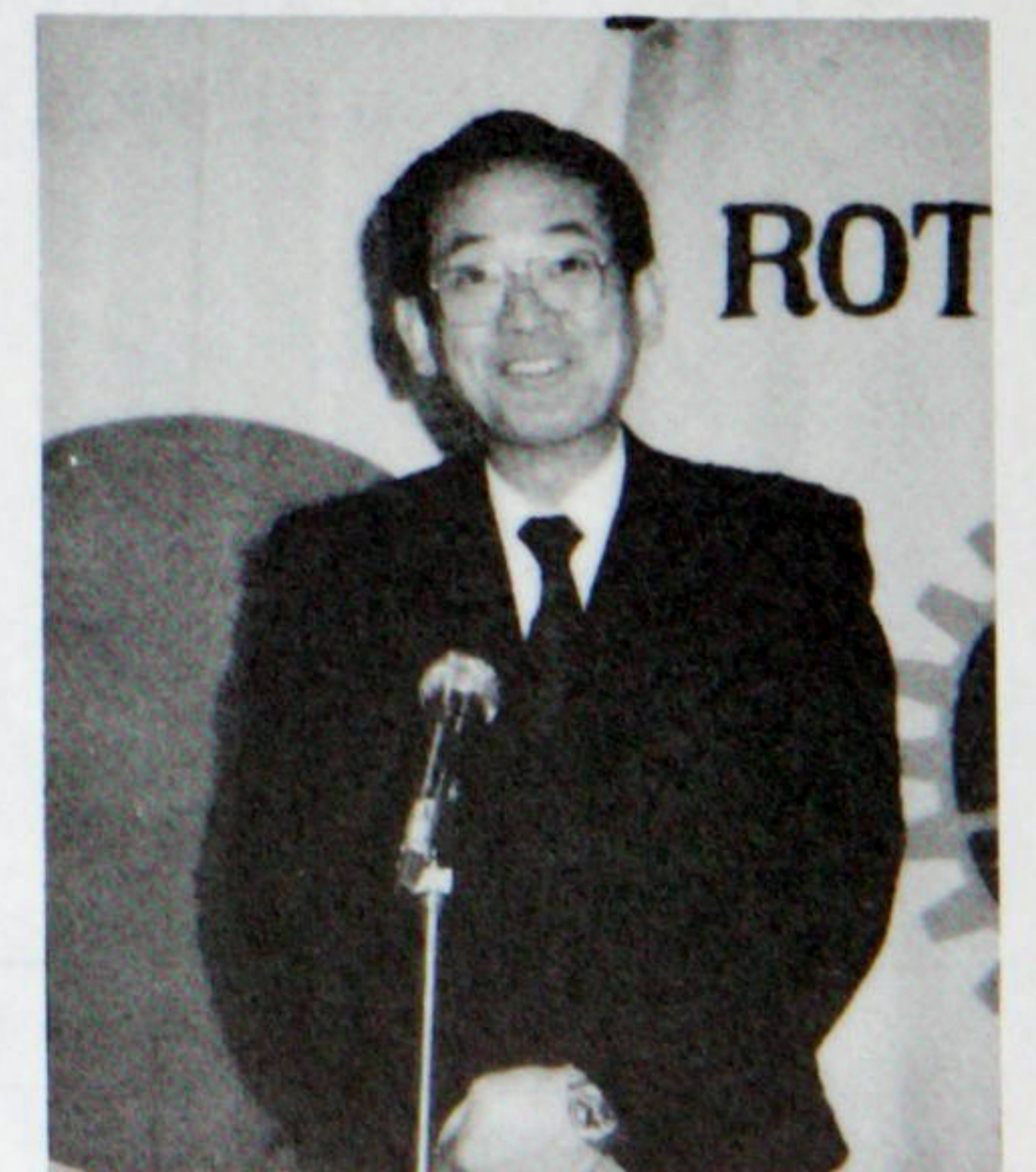
2月19日卓話

渡辺勝利会員

私は昨年三条工業会の会長をおおせつかりました。工業会のできた当時の背景には、商工会議所の工業部会では動けない政治の分野にも気楽に顔の出せる会としてスタートしたようです。

事業所は最小は1人から4人以下が518会員の半数近くあります。三条の工業のベースは鍛冶屋さんが鉄やのみカンナ等を家内労働的に作り、金物屋さんがとりまとめて売っていただいたという伝統的背景があります。商工会議所工業部会に企業として参加しないという一人二人の鍛冶屋さんが工業会の大きな部分を構成しています。

この10年位三条の工業も全体としては伸びていますが、内田コロナさんを初めとする一



部大手企業を除くとまだまだです。時代の流れの中で10人以下の事業所があと10年で6割も廃業するのではないかとされています。

前会長下村さんから一つの宿題を預かりました。法人化です。色々な点で工業会の存在がぼんやりしたものになっています。中小零細事業所では色々な意味で力不足ですので政府としても中小企業庁をつくり中小企業振興の為の政策を講じていますが、その受け皿を考えた場合役所としては何か公の立場が必要なことも多くあります。個人的には行政は支援の手をさしのべにくい事があります。

そこで組合がでて来ます。燕は洋食器工業組合やハウスウエア業組合があり、三条にも作業工具協同組合の他幾つかの組合があり受け皿の役目を果していますが三条工業会は受け皿としての資格がありません。加速的支援事業として何千万円という資金を一つの事業に政府は支援してくれます。

今年も燕に一つ三条に一つ支援を受けてやっている企業がありますが、そういった支援がある事はあまり知られていません。意外にそういった支援を力のある人達が受けて、本当に必要な力のない人達にまわっていないように感じます。法人化を通じそういった情報が会員のすみずみ迄伝えてくれれば良いと思っています。

一方悩みもあります。法人化を始めるにあたり会費の事を検討しています。会費月額150円が何年もすえ置かれています。せめて月額1,000にと云ったら、ある部門長さんに半分はやめてしまうだろうと云われました。金物協同組合さんは高速道路の共同支払によるリベートが1ヶ月に何百万円も入るようですが、その点工業会は月額150円の会費でやっていました。かといって力がないという訳ではなく商工会議所会館の寄付の時は大手企業のお陰もあって相当のお金が集まりました。

三条工業会としては今のところ資金面での具体的なものはないのですが当面まず法人化をするということを本年度をメドにやっといこうとしています。

今後共皆さんにはお世話になるとおもいますがどうぞよろしくお願い致します。

3月4日例会 卓話 丸山行彦会員

3月11日例会 卓話 書道家 池上蒼江殿

3月18日例会 卓話 国際交流として 中條耕二殿
